



# 千葉労働車動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

92.7.7 No3622



# 着流22分で 着先食事ができるか

前号で「勤労千葉申第二五号」に関する団交経過を報告した通り、JR千葉支社は、職場の実態を無視した極めて不誠実な対応をしている。

## 会社は

## やるべきこともやらない

これに対し組合側として、会社がやるべきことをやらないで放置していることは、極めて不当であることを強く主張し、とりわけ以下の点……

- ・竹岡～浜金谷間について、徐行を考慮した運転時分となっていると言っているが、何分伸ばしているのか？現在でも三〇秒遅れる。
- ・二一四四M(8両)の千葉駅五分折り返しに対し、段下げ交代が何故出来ない

今回は、館山支部からの職場要求に関する報告をします。  
当日、会社は次のように文書回答を行い、口頭で補足してきた。

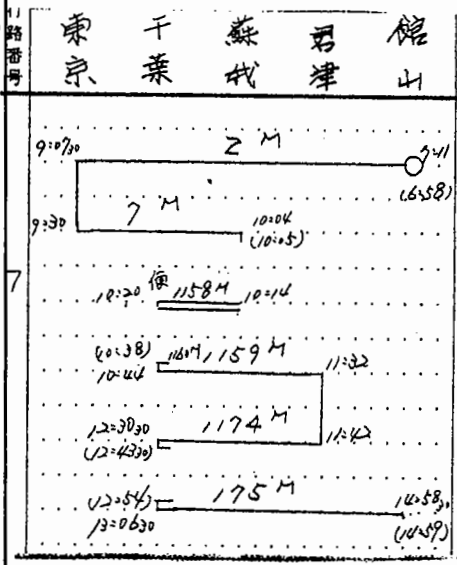
のか！

・五分の折り返しでは、「行先表示」「列車番号」と合わせて機器整備を行っているが、無理がある。生理的な問題等を一切考慮していない。  
・半月予備について、他区ではやっているのに何故出来ないのか？  
等々について、問題点を指摘し、解明を了解する場面もあったが、B7「仕業」の食事時間について、次のようなやりとりとなった。

### <組合側>

### <当局側 回答>

16 館山運転区について、次の点を改善すること。	改善に向けて検討しているところである。
① 単線区間におけるPRC制御による開通待ち時間による列車の遅れが発生しているのを改善すること。 ・141M、浜金谷駅、開通待ちによって60秒遅れる。 ・4M、保田駅、開通待ちによって45秒遅れる。 ・6M、浜金谷駅、開通待ちによって60秒遅れる。 ・2166M 江見駅、開通待ちによって60秒遅れる。	
・136M、南三原駅、開通待ちによって45秒遅れる。 ・2157M、保田駅、開通待ちによって60秒遅れる。	
② 竹岡～浜金谷間は、45km/h制限による遅れを改善すること。	徐行を考慮し、運転時分を設定しているところである。
③ 170M(7両)安房鶴川駅6分折返しで荷電の運転室が鎖錠されている、折返し時間を改善すること。	現行の折返し時分で対応されたい。
④ 2144M(8両)千葉駅5分折返しを段下げ交代とすること。	
⑤ B7について、食事がとれる内容に改善すること。	行先地における必要な時間は、可能な限り確保しているところである。
⑥ B26について、翌日の千葉1往復を改善すること。	行路作成上問題はない。
⑦ 予備期間を半月単位に改善すること。	現行の予備期間で対応されたい。



## 早朝6時05分出勤で 15時17分退区まで「食事がとれない」

## 当局は 切実な苦情を聞け

(組合) B7「仕業」は、六時〇五分の出勤から、一五時一七分の退区まで、食事をとる時間があると考えているのか？  
(会社) 千葉駅で着・発で二三分位ある。  
(組合) 朝食も取れない。着・発二三分では、準備時間を除けば一〇数分で食事が出来ると考えているのか！  
(会社) 可能な限り確保しているところである。  
(組合) 始めから要員を決めて運用を組むことを前提としていることに問題があり、食事・睡眠・休養時間等を前提にすればこのようなことは発生しない。

以上のように、団交経過を見てみればわかる通り、JR当局は「効率化」のみを追及し、動力車乗務員の切実な声に対し、何ら改善するという意思を持っていない。  
われわれは、さらに反合・運転保安闘争を強化し、「人間らしく」そして「安全の確保」を主眼に闘いを展開しなければならぬ！